

大規模災害時における被災者の住まいの確保策に関する検討会
主な検討課題（案）

- ① 被災者の住まいとなる大量の民間賃貸住宅等を迅速かつ適切に活用するため、民間団体等とどのように連携していくべきか。また、既存住宅ストックを最大限活用するため、どのような工夫をしていくべきか。
- ② 民間賃貸住宅等の活用に加えて、大量の応急仮設住宅の建設も必要となることが予想されるため、大規模災害時における供給量の推計や用地の確保等をあらかじめ行っておくべきではないか。また、応急仮設住宅での生活の長期化に対応した設備等についてもあらかじめ検討しておくべきではないか。
- ③ 県域を越えて避難する被災者のニーズをどのように把握し、住まいの提供等の支援を行っていくべきか。広域ブロック等で平時にどのような準備をしておくべきか。
- ④ 自宅の再建や民間賃貸住宅での自立など、住宅再建・生活再建を円滑に進めるためには、どのような支援を行っていくべきか。被災者の相談体制の確保等についても検討していくべきではないか。
- ⑤ 復興まちづくりの観点から、被災者の住まいの提供にあたってどのようなことに留意すべきか。仮住まいとしての役割を終えた応急仮設住宅を復興まちづくりの中で有効活用することについても検討していくべきではないか。